



ちばぎん



千葉銀行会社説明会

—個人投資家の皆さまへ—

皆さまとともに、70年。

平成25年2月
株式会社 **千葉銀行**
(東証第1部：8331)

≫ 成長性に富む千葉県

千葉県の成り立ち	3
他都道府県を上回る経済成長	4
地域の高い成長ポテンシャル	5

≫≫ 千葉県の成長と共に歩む千葉銀行

県内銀行の統合と千葉銀行の創立	7
千葉銀行の歩み	8
千葉県内金融機関シェア	9

≫≫≫ 千葉銀行の営業施策

店舗戦略	11
成長業種への対応強化	12
無担保ローン	13
投資型金融商品の販売拡大①	14
投資型金融商品の販売拡大②	15
社会貢献活動、創立70周年記念事業	16

≫≫≫≫ 業績推移と株主還元

安定した収益力①<預金、貸出金>	18
安定した収益力②<利益>	19
高い健全性	20
株主還元①	21
株主還元②	22

参考資料

≫ 成長性に富む千葉県

≫ ≫ 千葉県の成長と共に歩む千葉銀行

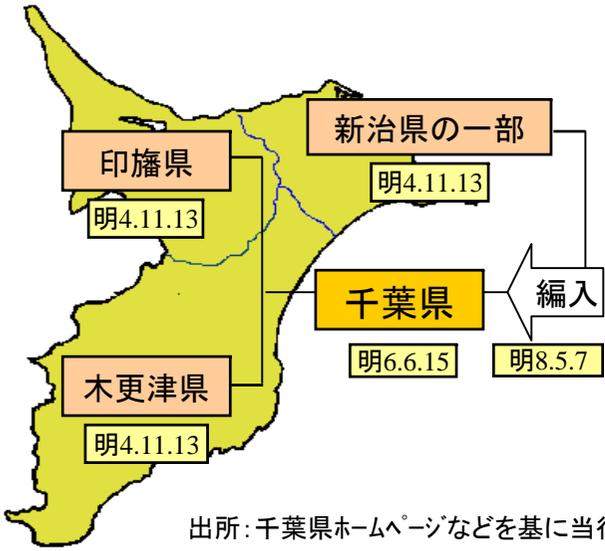
≫ ≫ ≫ 千葉銀行の営業施策

≫ ≫ ≫ ≫ 業績推移と株主還元

参考資料

■ 千葉県の成り立ち

縄文時代	土器の使用が始まるとともに、貝塚群が形成される
弥生時代	水稲稲作が始まり、房総全域に農耕集落が発達
古墳時代	3世紀中ごろから、前方後円墳の築造が始まる
奈良時代	「安房」「上総」「下総」の国が形成
鎌倉時代	源頼朝の命により、安房、上総、下総を開墾
江戸時代	江戸幕府のお膝元として経済、軍事的に重要な地域
明治時代	明治4年：廃藩置県 明治6年：木更津県と印旛県が統合し千葉県へ 明治8年：新治県を廃止、一部を千葉県に編入



出所：千葉県ホームページなどを基に当行作成

● 温暖で居住に適した千葉県

世界有数の縄文貝塚群

- ・全国の貝塚総数は約2,300ヶ所
うち千葉県に約700ヶ所(日本一)

前方後円墳の数が日本一

- ・千葉県内には約1万基の古墳
前方後円墳は723基(日本一)
- ・中央とのつながりが深い多くの地元豪族が存在

● 「安房」「上総」「下総」の由来

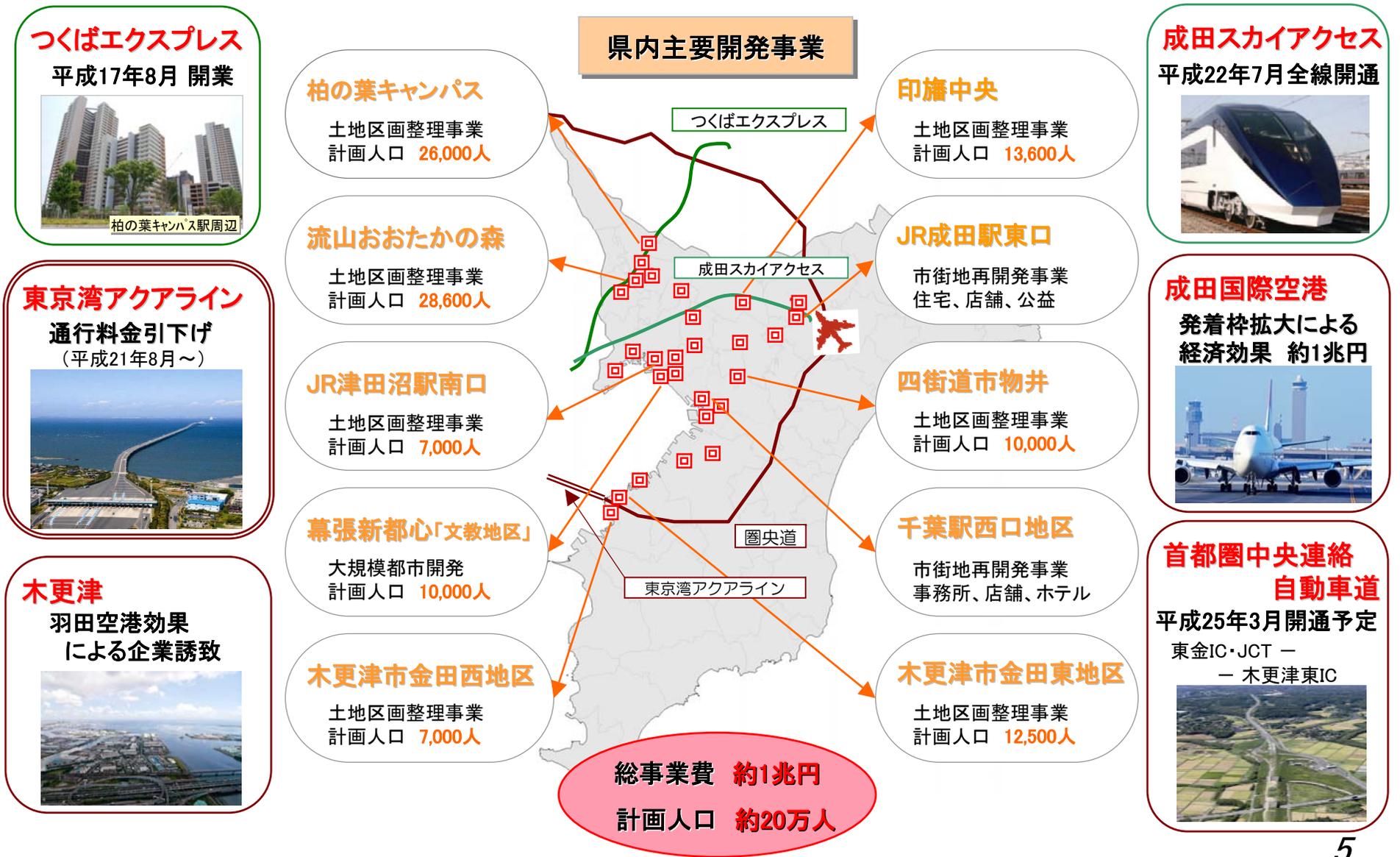
- ・「古語拾遺(こごしゅうい)」によれば、天富命(あめのとみのみこと)により率いられた阿波齋部(あわのいんべ)が、麻を栽培して成功。その肥沃な地が「総(ふさ)の国」と呼ばれ、齋部の居住地は阿波の名をとって「安房」と名づけられた。
- ・西国からの移住が海岸部から始まったため、半島南部の方が都に近い「上総」、北部が「下総」となった。

千葉県の経済規模は、他都道府県を大きく上回り拡大

	人口			県内総生産			小売販売額		
	大正9年 (千人)	平成22年 (千人)	増加倍率	昭和30年 (億円)	平成21年 (億円)	増加倍率	昭和47年 (億円)	平成19年 (億円)	増加倍率
1位	東京都 3,699	東京都 13,159	神奈川県 6.8	東京都 15,291	東京都 922,456	埼玉県 145.1	東京都 42,551	東京都 172,789	沖縄県 31.1
2位	大阪府 2,588	神奈川県 9,048	埼玉県 5.5	大阪府 6,646	大阪府 388,121	千葉県 138.4	大阪府 25,022	大阪府 96,505	奈良県 7.5
3位	北海道 2,359	大阪府 8,865	千葉県 4.7	北海道 5,016	愛知県 355,731	沖縄県 106.5	神奈川県 16,412	神奈川県 85,481	埼玉県 7.1
4位	兵庫県 2,302	愛知県 7,411	東京都 3.6	愛知県 4,762	神奈川県 327,848	神奈川県 101.7	北海道 15,673	愛知県 82,915	千葉県 6.7
5位	福岡県 2,188	埼玉県 7,195	愛知県 3.5	兵庫県 4,540	埼玉県 226,873	滋賀県 79.6	愛知県 15,571	埼玉県 63,378	滋賀県 6.3
6位	愛知県 2,090	千葉県 6,216	大阪府 3.4	福岡県 4,007	千葉県 212,006	茨城県 76.4	兵庫県 12,874	北海道 61,565	茨城県 6.2
7位	新潟県 1,776	兵庫県 5,588	奈良県 3.4	神奈川県 3,192	兵庫県 197,511	愛知県 73.7	福岡県 11,035	千葉県 57,550	宮城県 5.8
8位	長野県 1,563	北海道 5,506	宮城県 2.4	静岡県 2,786	北海道 192,374	長野県 69.2	埼玉県 8,883	兵庫県 54,873	鹿児島県 5.6
9位	静岡県 1,550	福岡県 5,072	沖縄県 2.4	新潟県 2,037	福岡県 189,622	群馬県 66.6	静岡県 8,727	福岡県 53,562	愛知県 5.3
10位	広島県 1,542	静岡県 3,765	静岡県 2.4	広島県 1,994	静岡県 173,659	山梨県 65.2	千葉県 8,557	静岡県 40,782	熊本県 5.3
—	千葉県 14位 1,336	—	—	千葉県 16位 1,520	—	—	—	—	—
(出所)	総務省「国勢調査」			内閣府「県民所得統計年報」 「県民経済計算年報」			経済産業省「商業統計」		

※各項目の左欄は、ホームページで確認できる一番古いデータ。中央は直近データ。

千葉県は大規模な開発プロジェクトに支えられた成長地域



つくばエクスプレス
平成17年8月 開業

柏の葉キャンパス駅周辺

東京湾アクアライン
通行料金引下げ
(平成21年8月～)

木更津
羽田空港効果
による企業誘致

成田スカイアクセス
平成22年7月全線開通

成田国際空港
発着枠拡大による
経済効果 約1兆円

首都圏中央連絡自動車道
平成25年3月開通予定
東金IC・JCT - 木更津東IC

≫ 成長性に富む千葉県

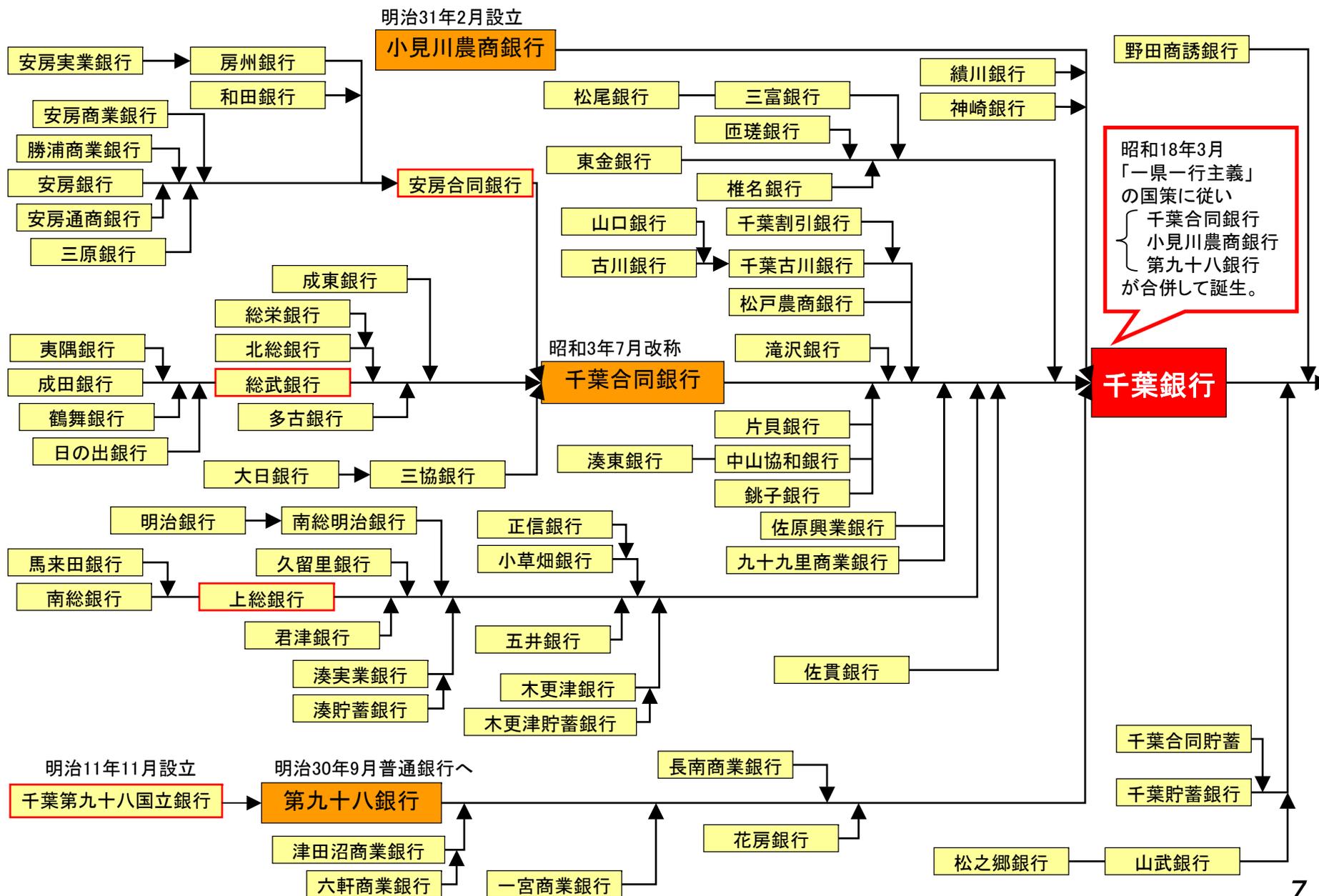
≫≫ 千葉の成長と共に歩む千葉銀行

≫≫≫ 千葉銀行の営業施策

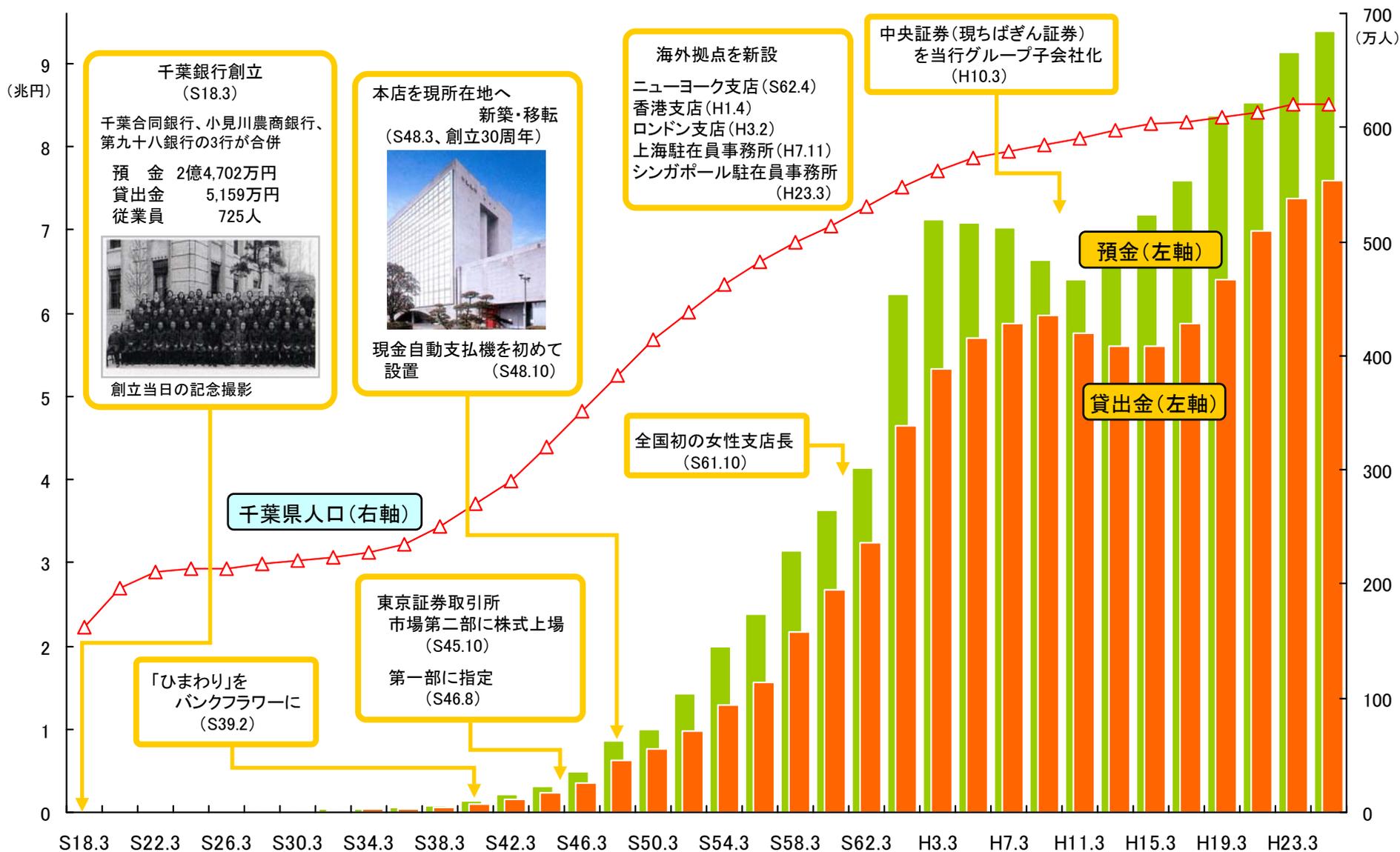
≫≫≫≫ 業績推移と株主還元

参考資料

県内銀行の統合と千葉銀行の創立

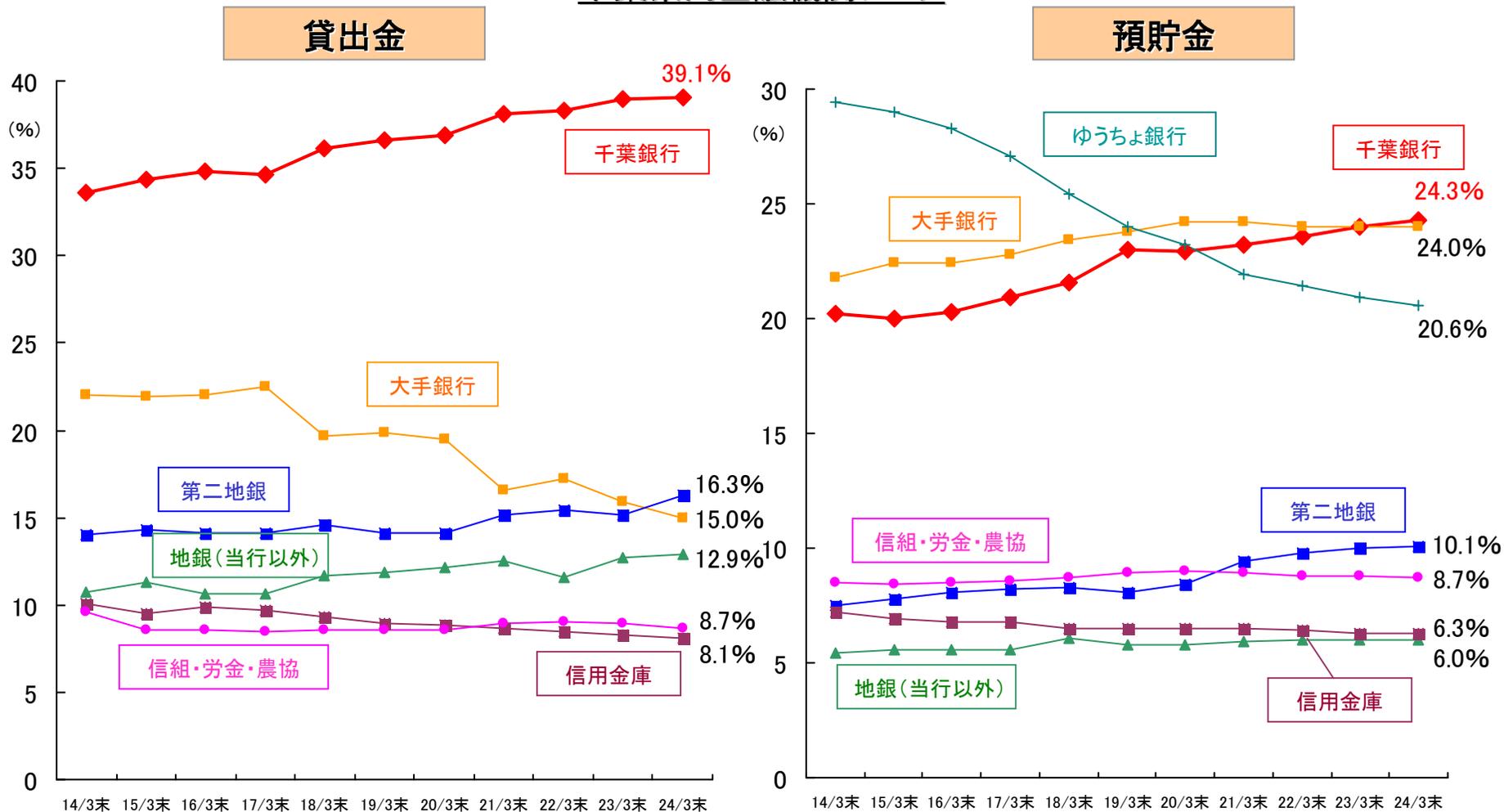


「千葉県の人口」と「当行の預貸金残高」



千葉県を中心に強固な顧客基盤を有し、千葉県内シェアは着実に増加

千葉県内金融機関シェア



≫ 成長性に富む千葉県

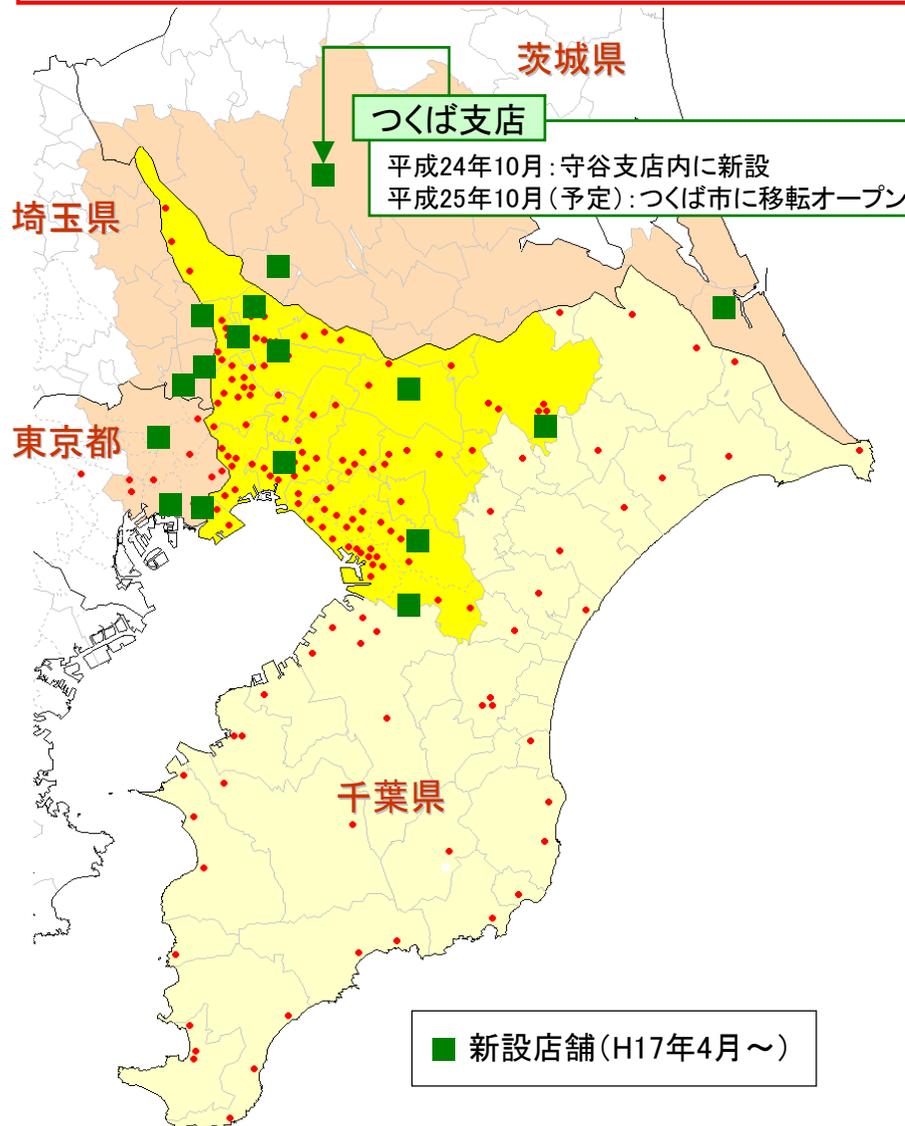
≫ ≫ 千葉県の成長と共に歩む千葉銀行

≫ ≫ ≫ 千葉銀行の営業施策

≫ ≫ ≫ ≫ 業績推移と株主還元

参考資料

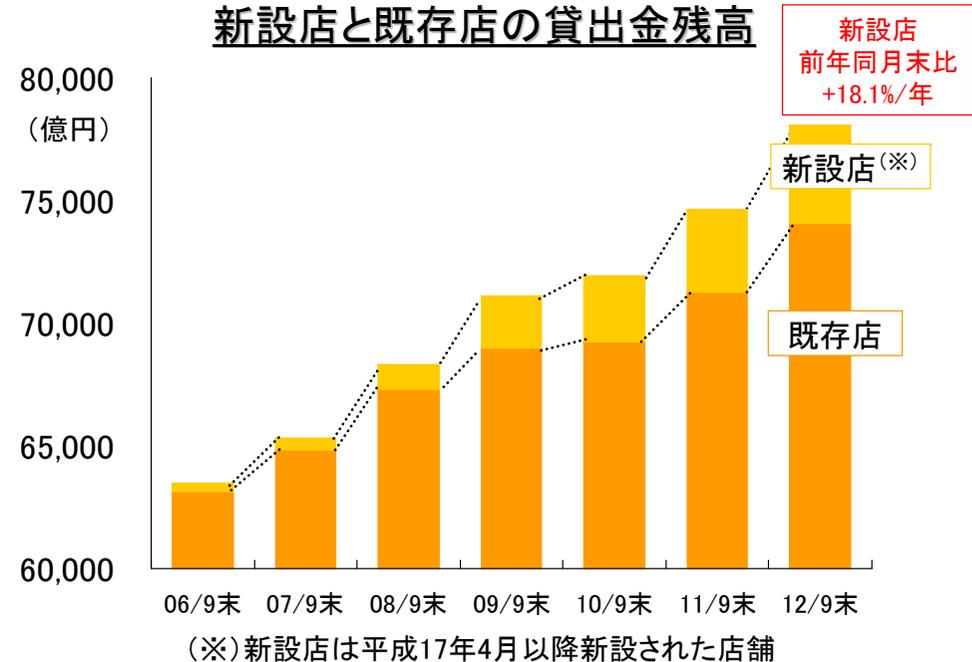
「広域千葉圏」の成長地域へ、積極的に新店舗を新設



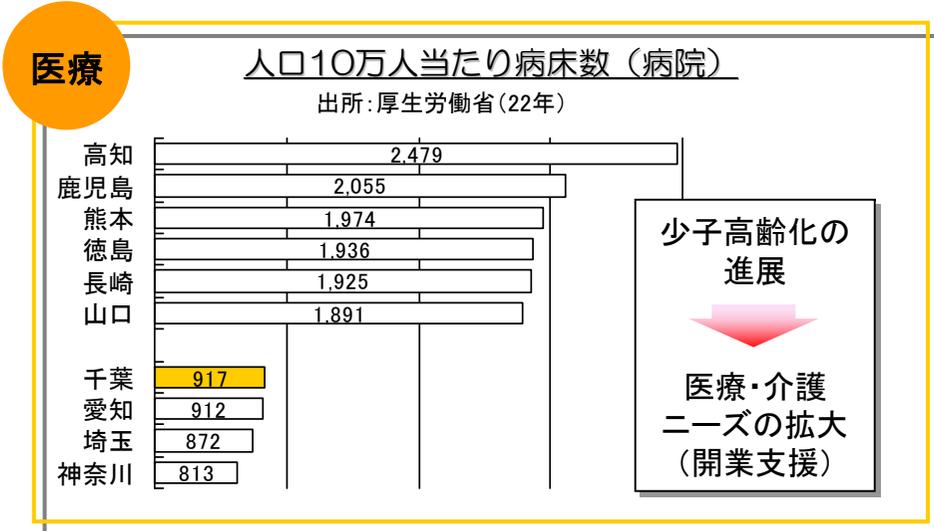
広域千葉圏



新設店と既存店の貸出金残高



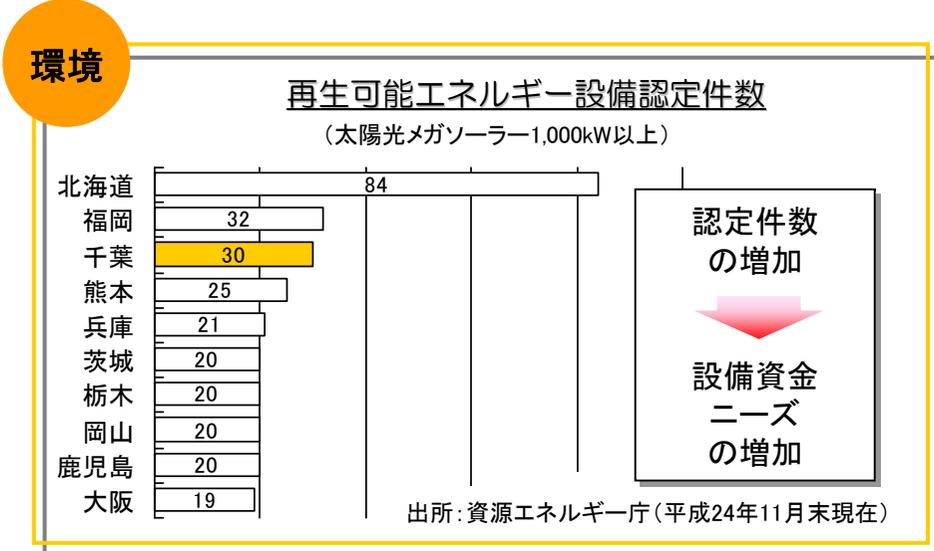
平成22年10月 法人営業のサポート部門として「成長ビジネスサポート室」設置
 農業、観光、医療・介護、環境、PFI、国際業務、ベンチャーなどの成長分野に専担者を配置し、お客さまをサポート



➤ 千葉県の「病床整備計画」
 H24/3 : 54医療機関/3,206床の増床決定
 H24/12 : 603床を追加公募

➤ 千葉県の「高齢者居住安定確保計画」
 サービス付高齢者向け住宅登録数
 1,519戸（H23年）⇒9,000戸（H27年）

病院、サービス付高齢者向け住宅等
 建築資金ニーズへ対応

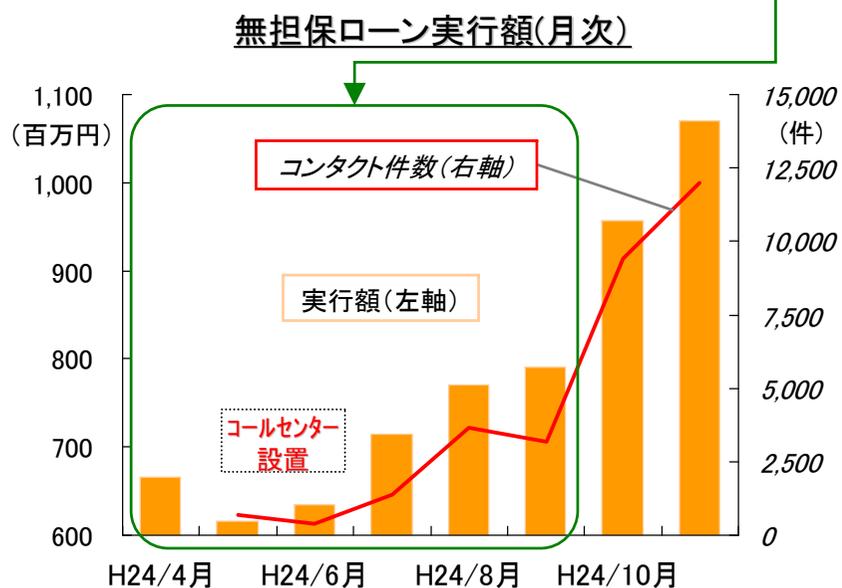
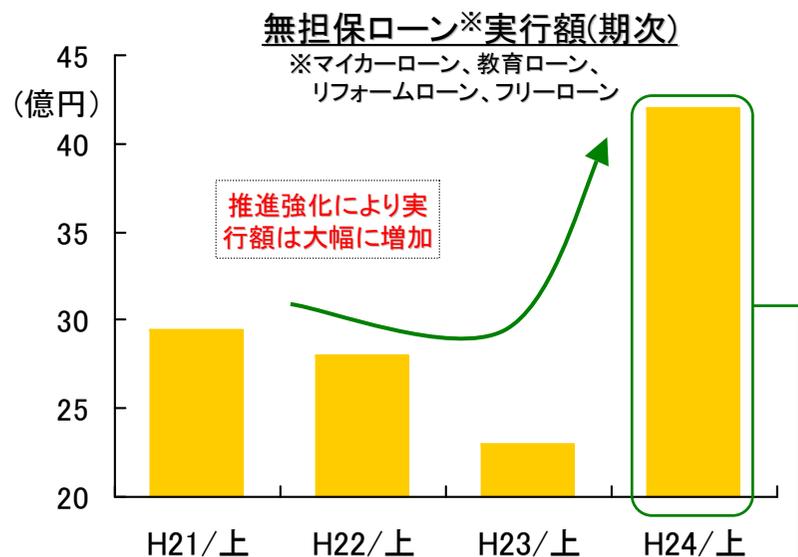


➤ セミナーの実施：H24/9
 「第2回ちばぎん省エネ・ECOセミナー」を開催
 ・固定価格買取制度についての説明
 ・関東経済産業局や専門家による講演
 ・ビジネスマッチング（参加者115名）

➤ 融資制度を新設：H24/9
 太陽光発電事業支援融資制度
 「ちばぎんエコパワー」を導入
 特徴：買取期間20年に合わせ、固定金利の適用期間を最長20年に設定

太陽光発電等設備資金ニーズへ対応

無担保ローンの取組強化とカード事業への取組



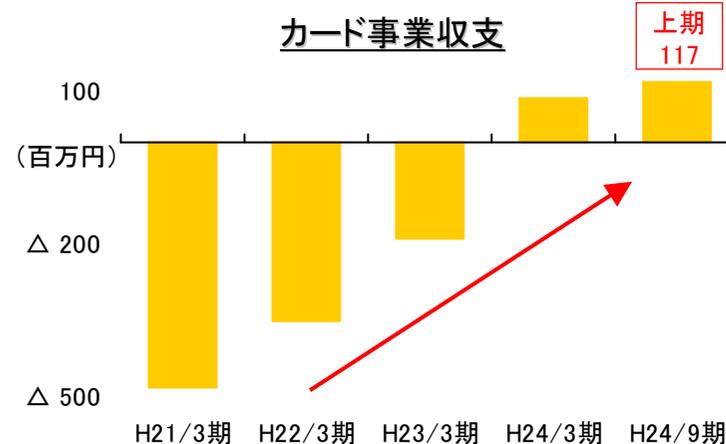
地域優待サービス

- 提携先企業でのカード利用に特典付与
- 当行による提携先企業への送客支援



効果

- クレジットカードの利用促進
- 住宅ローンや預かり資産等、お客さまの早期囲い込み
- 地域企業とのリレーション強化



規制緩和に積極的に対応し、お客さまのニーズにそった提案営業を実践

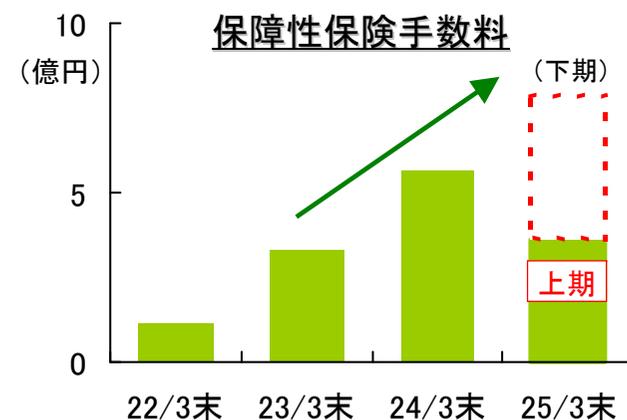
《規制緩和への対応》

投資信託	H10/10 銀行窓販解禁	
保険	H13/4 銀行窓販解禁(一次解禁)	
信託業務	H18/6 遺言信託・遺産整理業務に 銀行本体で取扱開始	地銀初

《販売態勢の強化》

- H17/2～ 金融商品仲介業務取扱開始
(委託証券会社:現ちばぎん証券) → **ちばぎん証券完全子会社化**
- コンサルティングプラザ(3店舗)、コンサルティングラウンジ(7店舗)

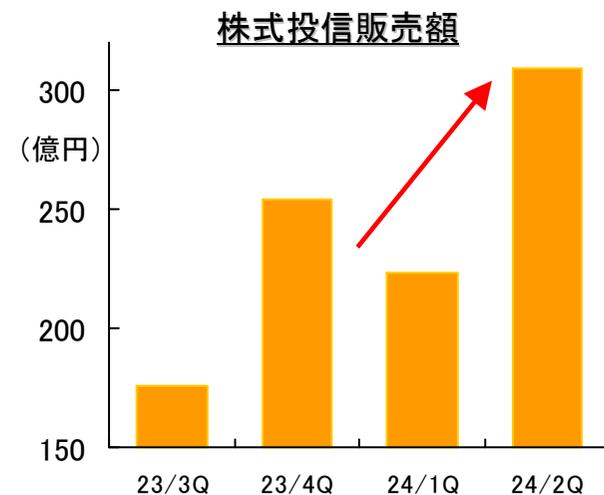
平成24年4月～ 保障型保険の取組強化
銀行保険窓販に係る 保険担当増員
弊害防止措置見直し **2名 → 6名 → 10名 → 15名**
(21/9) (22/4) (23/4) (24/10)



《ITの活用》



- タブレット式モバイル端末**
 - ・営業担当者へ約200台導入(H24/7)
 - ・商品提案力の強化
- EBM (Event Based Marketing)**
 - ・お客様のライフイベントに合わせた提案
 - ・成約率は着実に上昇
7.6%(H23下) → 10.6%(H24/9)



お客さまからの相談をお受けする拠点としてコンサルティングプラザを設置

コンサルティングプラザ千葉

H23.10リニューアルオープン



コンサルティングプラザ柏



コンサルティングプラザ船橋



地域貢献活動を中心に創立70周年記念事業を実施

「ひと」の未来を育む

- ・「ちばぎん金融資料室」の設置
(H25.4予定)

当行および前身銀行を中心とした千葉県の金融史を紹介する場、及び、小学生等の金融教育の場として、金融資料室を設置します。



- ・「移動採血車(献血バス)」の寄贈
(H25.3予定)

従来より、日本赤十字社千葉県支部と連携し、災害用毛布やAED訓練人形などを整備。今般移動献血車を1台寄贈。



「環境」の未来を育む

- ・「ちばぎんの森(第4)森林整備活動」
(H25.2予定)

マツ食い虫や東日本大震災の津波で被害を受けた海岸保安林の再生を目的に、蓮沼海岸の植樹活動を開始します。



- ・「ちばぎん ひまわり憩いの広場」の設置
(H25.2予定)

木更津支店跡地の有効活用
店外ATM及び駐車場を新設し、
江戸風情の多目的広場を整備。



「産業」の未来を育む

- ・「学生版ビジネスアイデアコンテスト」
(H24.10より)

起業家志向向上を図り、地域の産業および経済の発展に寄与することを目的として開催。
優秀賞1プラン(30万円)、奨励賞2プラン(10万円)

- ・「ちばぎん・研究開発助成制度」
(H25.4予定)

千葉大学、千葉工業大学の研究成果と中小企業自らの技術・商品開発ニーズをマッチングし、早期に事業・商品化することを目指し創設。

- ・「蘇我事務センタービル」の建設
(H24.6実施)

照明のLED化や太陽光発電設備、屋上緑化などを導入、環境に配慮。



≫ 成長性に富む千葉県

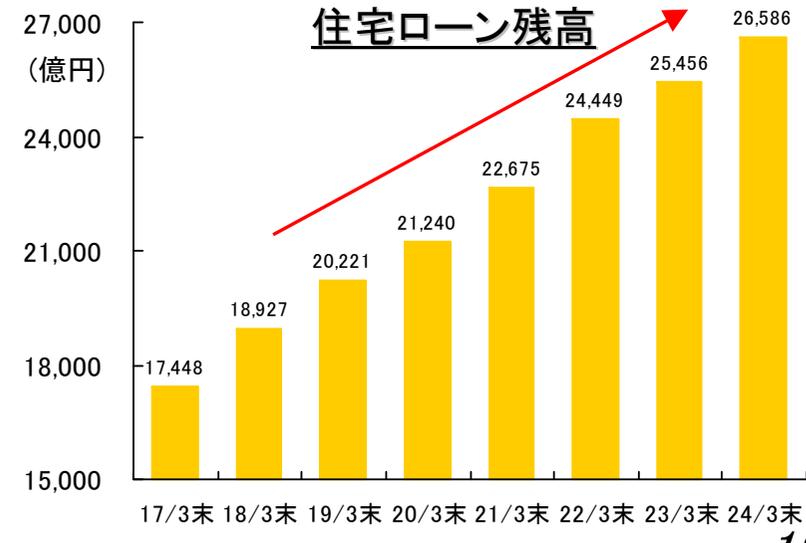
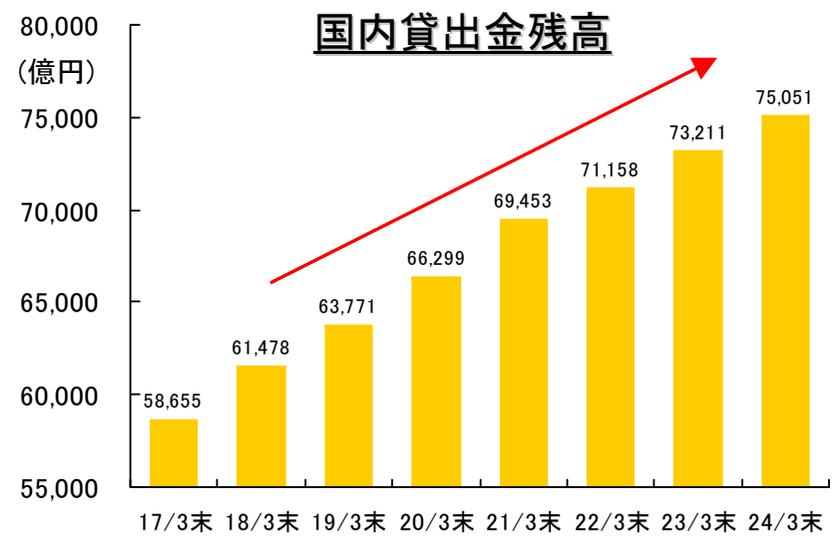
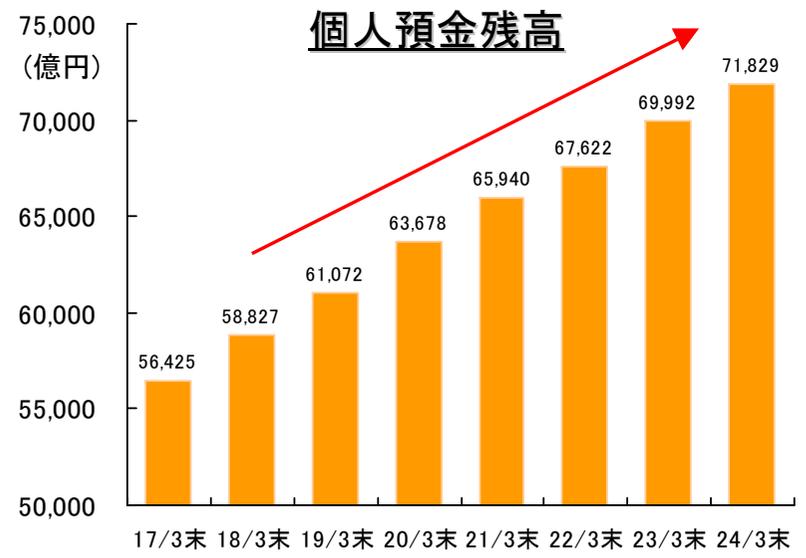
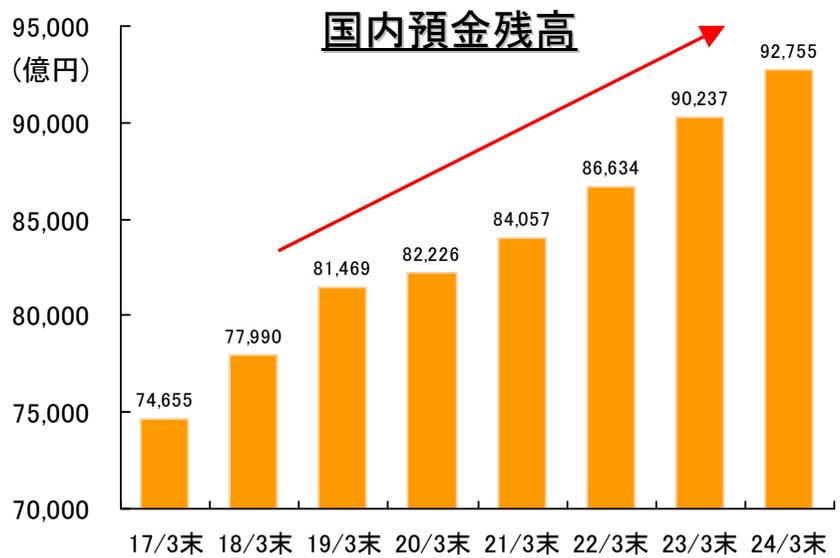
≫ ≫ 千葉県の成長と共に歩む千葉銀行

≫ ≫ ≫ 千葉銀行の営業施策

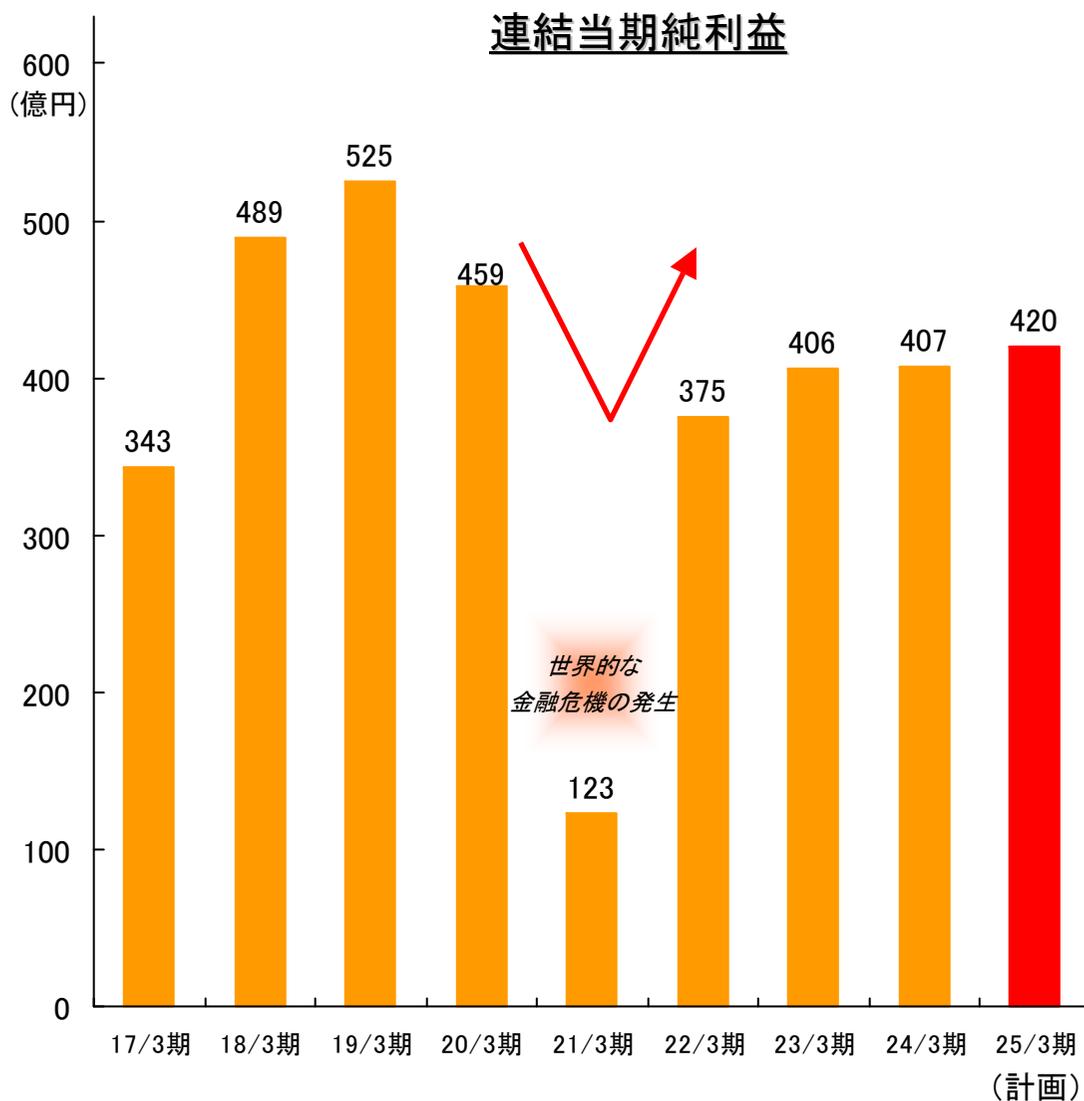
≫ ≫ ≫ ≫ 業績推移と株主還元

参考資料

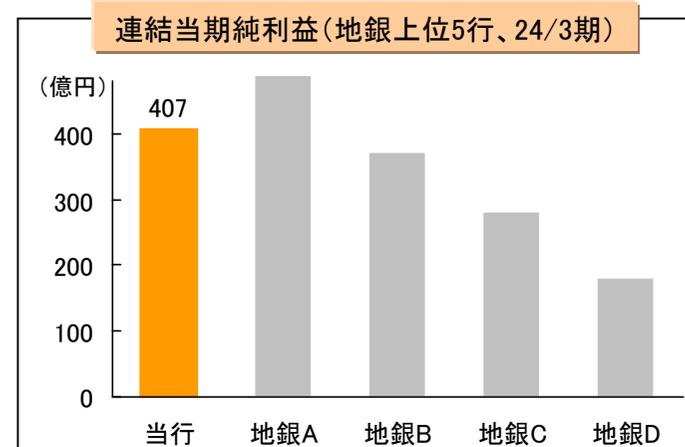
個人預金残高の増加により、国内預金残高は順調に増加



国内預金や国内貸出金の増加により、安定した収益力を維持

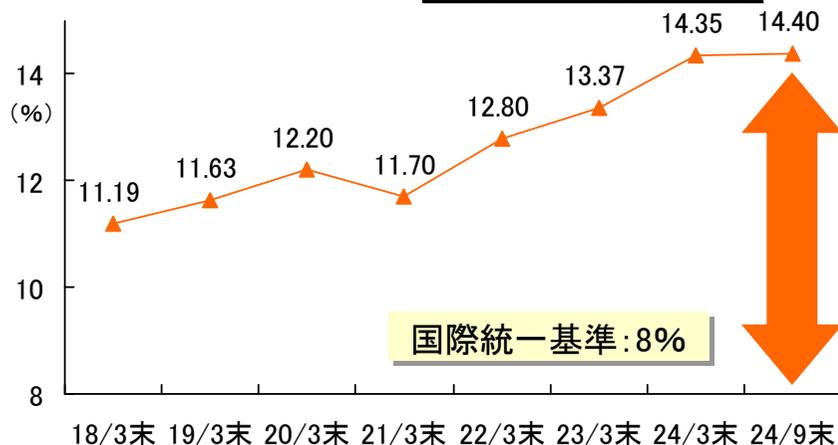


- リーマンショック後、**3期連続増益**
- 平成25年3期の連結当期純利益は **420億円を計画**
- 地銀上位行中、**トップクラス**の利益水準



高い健全性で、地域へ円滑かつ安定的に資金を供給

連結自己資本比率



地銀上位5行、24/9期

銀行名	比率
地銀B	17.84%
千葉銀行	14.40%
地銀A	14.37%
地銀D	13.16%
地銀C	12.79%

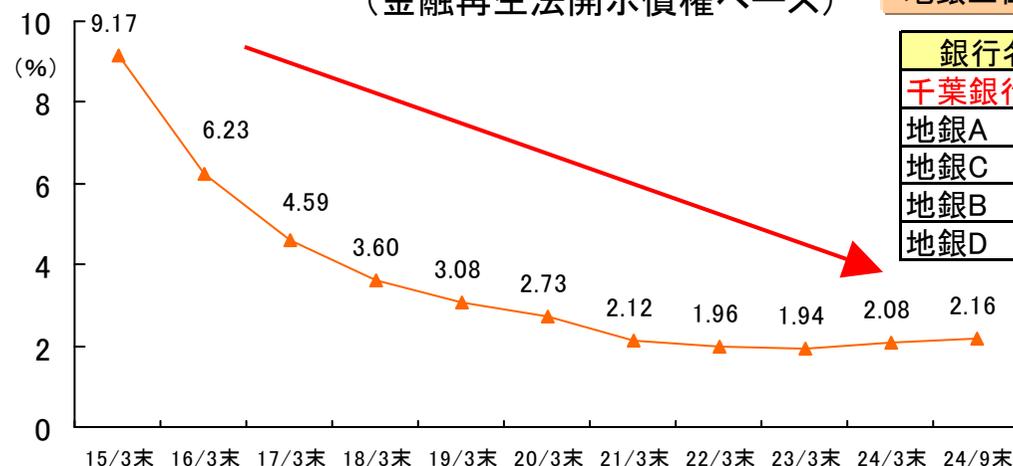
銀行格付比較

(平成24年12月末現在)

格付	銀行名
AA	静岡銀行
AA-	千葉銀行 横浜銀行 常陽銀行
	三菱東京UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行 三井住友銀行
A+	福岡銀行 群馬銀行 八十二銀行
	みずほ銀行 みずほコーポレート銀行 みずほ信託銀行 三井住友信託銀行 りそな銀行 埼玉りそな銀行
A	北陸銀行
A-	
BBB+	新生銀行 あおぞら銀行

格付投資情報センター※(R&I)による発行体格付
※ 国内最大の格付機関

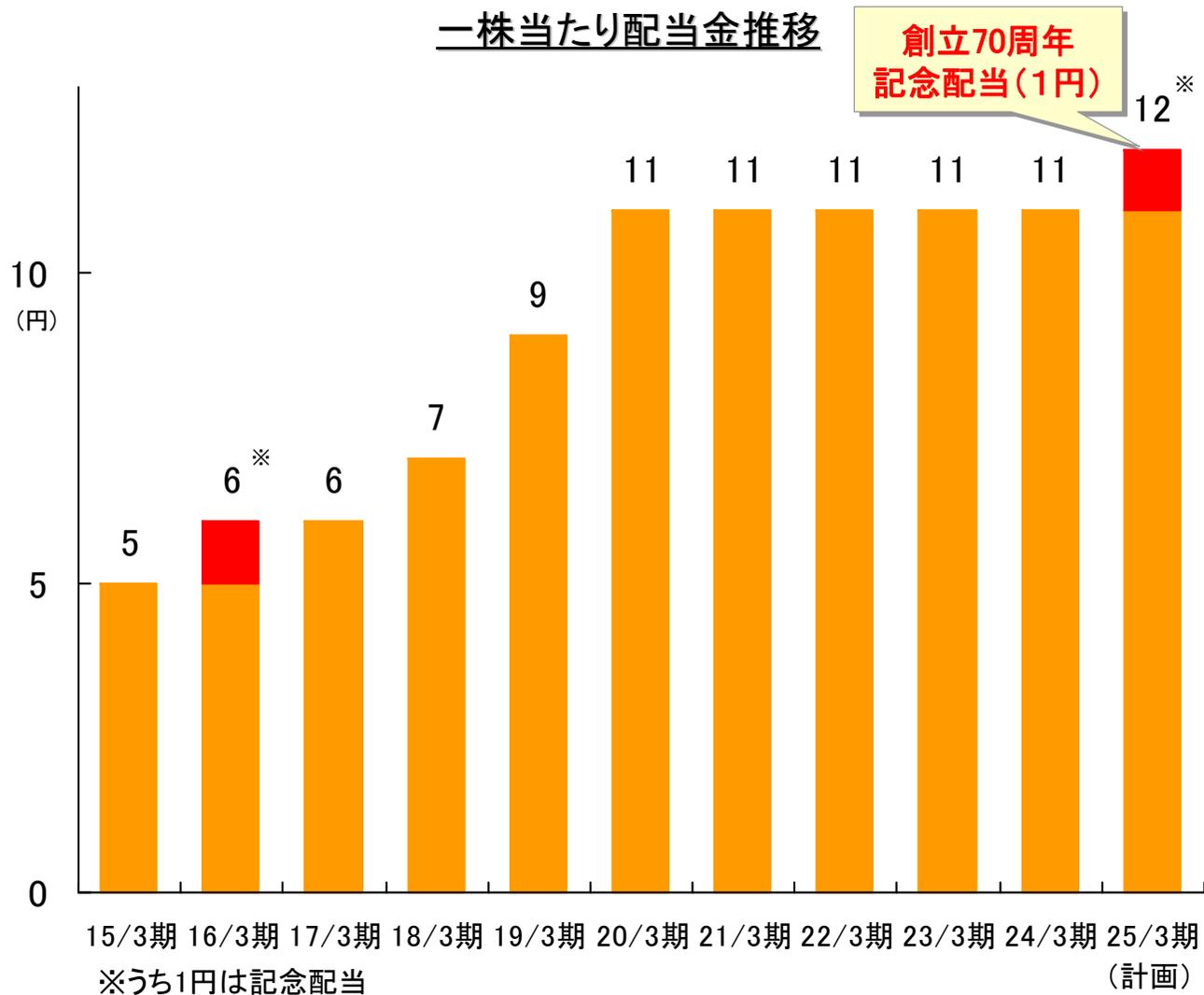
不良債権比率 (金融再生法開示債権ベース)



地銀上位5行、24/9期

銀行名	比率
千葉銀行	2.16%
地銀A	2.29%
地銀C	2.92%
地銀B	3.04%
地銀D	3.22%

安定配当の方針を維持しつつ、積極的に利益を還元。創立70周年の記念配当で1円増配を発表



今年度2度目の自己株式取得

- #### 今年度1回目
- 24年5月
自社株取得を発表
 - 24年5月～6月
10百万株(45.8億円)を取得
- #### 今年度2回目
- 24年11月
自社株取得を発表
 - 24年11月～12月
10百万株(48.5億円)を取得

株主さまの幅広いニーズにお応えするため、株主優待制度を継続

①、②の2コースのいずれかをお選びいただけます

①特産品コース

1,000株以上
10,000株未満

千葉県の特産品等(3,000円相当)

10,000株以上

千葉県の特産品等(6,000円相当)

②金融コース

1,000株以上
10,000株未満

株主優待クーポン1枚

10,000株以上

株主優待クーポン2枚

株主優待制度 <優待基準(毎年3月末)>

カタログに記載された千葉県の特産品等からお好みの商品をお選びいただけます。

<人気商品の例>



※写真はすべて3,000円相当カタログ掲載の商品

当行およびグループ会社が提供する金融商品・サービスの優待が受けられる株主優待クーポンをお送りいたします。

<株主優待クーポン1枚で受けられる優待内容>

1	定期預金1年もの店頭表示金利(年)0.2%上乗せ (1枚につき1回限り500万円が上限、期間1年)
2	外国通貨両替手数料20%割引(1枚につき1回限り割引後レートで日本円100万円相当分の両替が上限)
3	遺言信託引受承諾手数料(21万円[税込])20%割引
4	ちばぎん証券の国内上場株式売買委託手数料20%割引 (1枚につき年間1万円が上限)
5	ちばぎん総合研究所のセミナー受講料20%割引 (1枚につき1回限り1万円が上限)

※上記のいずれか1つをお選びいただけます

≫ 成長性に富む千葉県

≫ ≫ 千葉県の成長と共に歩む千葉銀行

≫ ≫ ≫ 千葉銀行の営業施策

≫ ≫ ≫ ≫ 業績推移と株主還元

参考資料

(ご参考)平成24年3月期業績概要

	23/3期	24/3期	増減額
	<億円>		
1 業務粗利益	1,592	1,533	△ 59
2 資金利益	1,376	1,345	△ 31
3 役務取引等利益	141	145	3
4 特定取引利益	11	14	3
5 その他業務利益	63	27	△ 35
6 うち債券関係損益	39	9	△ 30
7 経費(△)	807	812	5
8 実質業務純益	784	720	△ 64
9 一般貸倒引当金繰入額(△)	4	-	△ 4
10 業務純益	789	720	△ 69
11 臨時損益	△ 191	△ 102	89
12 うち不良債権処理額(△)	162	22	△ 140
13 うち株式等償却(△)	36	△ 92	△ 46
14 経常利益	597	617	19
15 特別損益	43	△ 7	△ 51
16 うち償却債権取立益	54	32	△ 22
17 当期純利益	381	360	△ 21
18 実質信用コスト(△)	103	22	△ 81
19 連結経常利益	653	669	16
20 連結当期純利益	406	407	1

資金利益

	23/3期	24/3期	増減額
	<億円>		
資金利益	1,376	1,345	△ 31
国内業務部門	1,347	1,314	△ 33
うち預貸金	1,215	1,194	△ 20
貸出金利息	1,290	1,244	△ 45
預金利息	74	50	△ 24
うち有証利息配当金	153	141	△ 12
国際業務部門	29	31	1

役務取引等利益

	23/3期	24/3期	増減額
	<億円>		
役務取引等利益	141	145	3
役務取引等収益	317	324	7
うち投信+年金保険等	88	93	5
投資信託	47	44	△ 3
年金保険等	40	49	8
うちATM関連手数料	35	34	△ 0
役務取引等費用(△)	176	179	3
うちローン関係費用(△)	106	108	2

(ご参考)平成24年9月期業績概要

	23/9期	24/9期	増減額
業務粗利益	781	772	△ 9
資金利益	679	662	△ 16
役務取引等利益	70	72	1
特定取引利益	6	5	△ 0
その他業務利益	25	31	5
うち債券関係損益	17	23	5
経費(△)	399	412	13
実質業務純益	382	359	△ 23
コア業務純益	365	336	△ 29
一般貸倒引当金純繰入額(△)	-	-	-
業務純益	382	359	△ 23
臨時損益	△ 25	△ 23	2
うち不良債権処理額(△)	△ 57	7	65
うち株式等関係損益	△ 95	△ 37	57
経常利益	357	336	△ 21
特別損益	△ 2	△ 3	△ 0
中間純利益	230	207	△ 22
与信関係費用(△)	△ 57	7	65
連結経常利益	374	367	△ 7
連結中間純利益	234	220	△ 14

資金利益

	23/9期	24/9期	増減額
資金利益	679	662	△ 16
国内業務部門	665	645	△ 20
うち預貸金	596	580	△ 16
貸出金利息	625	601	△ 23
預金利息	28	21	△ 6
うち有証利息配当金	78	76	△ 2
国際業務部門	13	17	3

与信関係費用

	23/9期	24/9期	増減額
一般貸倒引当金純繰入額	△ 93	△ 25	67
不良債権処理額	51	51	△ 0
うち新規発生	57	55	△ 2
うち担保下落等	5	8	2
うち回収等	△ 10	△ 15	△ 4
償却債権取立益	△ 16	△ 18	△ 2
与信関係費用	△ 57	7	65

(ご参考) 平成24年12月期業績概要

	<億円>		増減額
	23/12期	24/12期	
1 業務粗利益	1,171	1,162	△ 8
2 資金利益	1,018	988	△ 29
3 役務取引等利益	105	108	3
4 特定取引利益	8	8	△ 0
5 その他業務利益	38	56	18
6 うち債券関係損益	25	44	18
7 経費(△)	605	620	15
8 実質業務純益	565	542	△ 23
9 コア業務純益	540	497	△ 42
10 一般貸倒引当金純繰入額(△)	-	-	-
11 業務純益	565	542	△ 23
12 臨時損益	△ 70	10	81
13 うち不良債権処理額(△)	△ 26	15	42
14 うち株式等関係損益	△ 106	△ 13	93
15 経常利益	495	552	57
16 特別損益	△ 3	△ 3	△ 0
17 四半期純利益	284	343	58
18 与信関係費用(△)	△ 26	15	42
19 連結経常利益	533	609	76
20 連結四半期純利益	326	368	41

資金利益

<億円>		23/12期	24/12期	増減額
資金利益		1,018	988	△ 29
国内業務部門		996	961	△ 34
うち預貸金		898	869	△ 28
貸出金利息		938	901	△ 36
預金利息		39	31	△ 7
うち有証利息配当金		113	110	△ 3
国際業務部門		21	27	5

与信関係費用

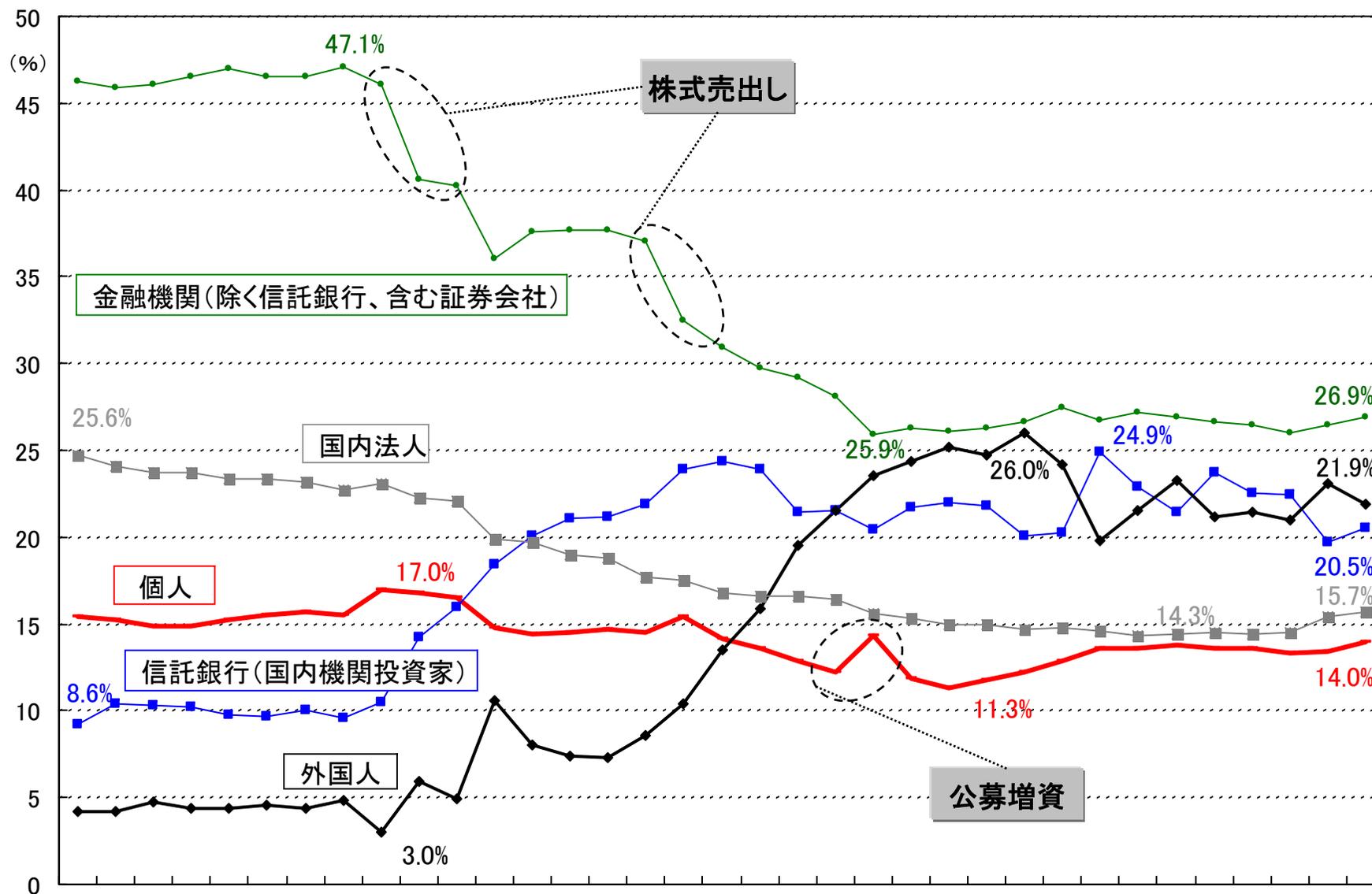
<億円>		23/12期	24/12期	増減額
一般貸倒引当金純繰入額		△ 90	△ 25	65
不良債権処理額		88	68	△ 19
うち新規発生		92	75	△ 17
うち担保下落等		10	11	1
うち回収等		△ 14	△ 22	△ 7
償却債権取立益		△ 24	△ 28	△ 3
与信関係費用		△ 26	15	42

(ご参考) 日経平均株価と千葉銀行株価の推移

(チャート期間: 平成22年12月30日～平成25年2月15日)



(ご参考)株主構成の変化



95/9末 96/9末 97/9末 98/9末 99/9末 00/9末 01/9末 02/9末 03/9末 04/9末 05/9末 06/9末 07/9末 08/9末 09/9末 10/9末 11/9末 12/9末

本資料に関する
ご意見、ご感想、お問い合わせは
下記IR担当までお願いいたします。

株式会社 千葉銀行経営企画部(IR担当)

Tel: 043-301-8459

Fax: 043-242-9121

E-Mail: ir@chibabank.co.jp

本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。本資料には、将来の業績にかかる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。